

EVENT 112 MARKETING

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-A
TEL03-6721-5303 sof@event-marketing.co.jp

特集 イベントに行きたくなる
「映像の使い方」

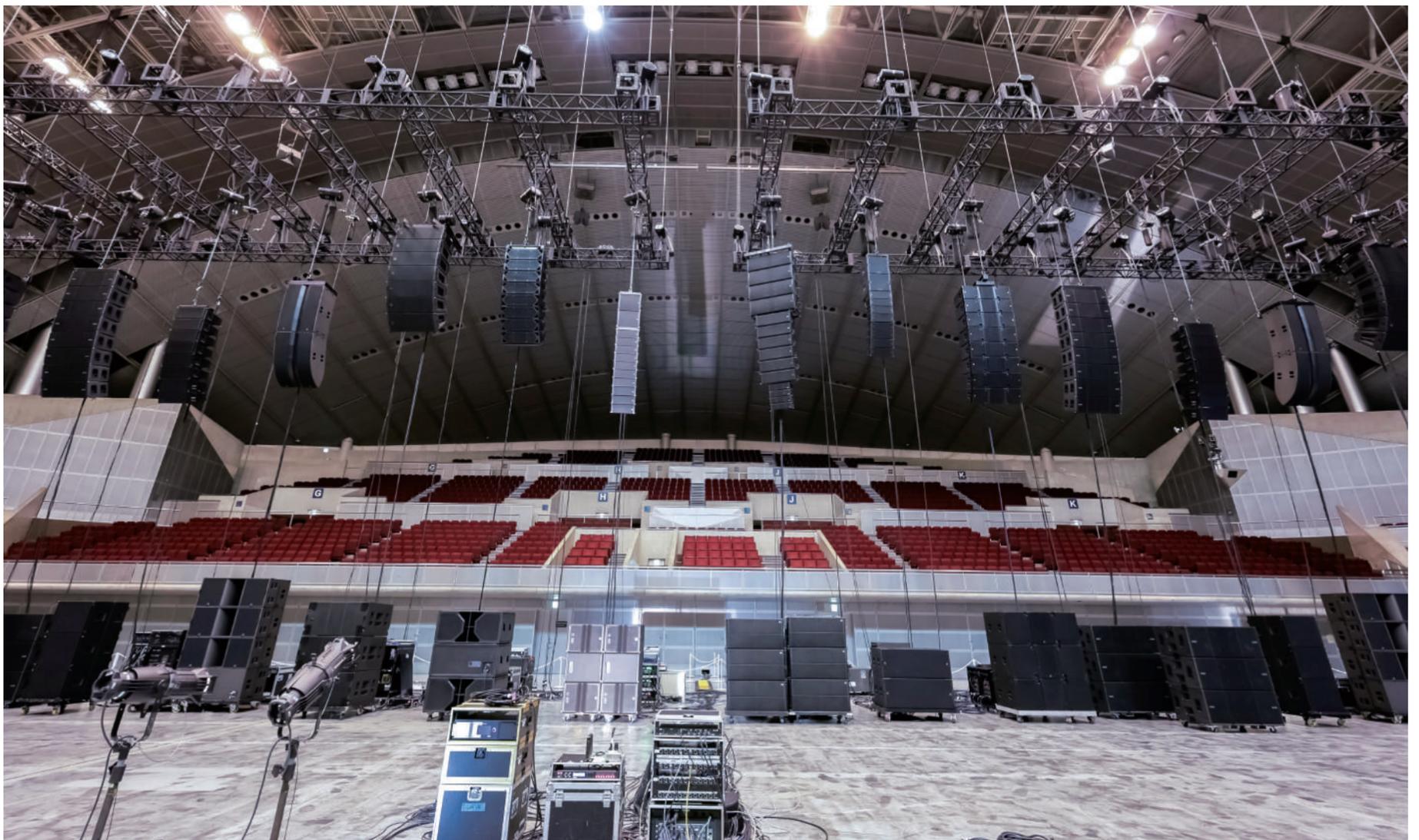


展示会開催宣言
(一社) 日本エレクトロニクス
ショー協会
Inter BEE
ディレクター
小田 佳代子さん

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp

見えないものが見えてくる!?



「Inter BEE 2023」会場風景より

あのイベントには絶対行く！ここも気になる…と身体がいくつあっても足りない。イベントが増えたが故の、嬉しい悲鳴だ。

可処分時間の争奪戦と言われて久しいが、そこで「アーカイブがあればいいかな？」という気持ちを必死に抑え込んでいる。

リアルでないとわからない本質と、スペック情報ではわからない Face to Face のコミュニ

ケーションの力を、身に染みてわかっているから。

業務スケジュールが破滅になる未来を自覚しながら、やはり会場に行こうと後押しするのは、“ここでしかできない体験”。

今回の表紙は5面で紹介した放送関連の展示会 Inter BEE 2023 の X-Speaker SR スピーカー体験デモのようす。幕張メッセのイベ

ントホールをまるまる使って、各メーカーの巨大なスピーカーセットを吊り下げ、その音の豊かさや響きを自分の耳で、身体で体験できる名物企画だ。

今回の特集「イベントに行きたくなる映像の使い方」の取材を進めるうちに気づかされたのが、映像の臨場感や没入感、心地よさを向上することに、クリエイターの皆さんが、“音”

を効果的につかっていること。

大きな音でインパクトを与えたり、立体音響で舞台に引き込んだり、なにげない生活音も、僕らをクリエイターの世界観へと誘う。

映像や音響の他にも、イベント体験を増幅する要素はまだたくさんあるはず。これからも、いろんな会場に行って皆さんのワザを集めていこう。
(編集部・田中力)

リアルもオンラインも ビジネスイベントを もっと簡単に

イベント主催者の悩みをすぐに解決できる
イベントマーケティングプラットフォーム

お問い合わせはこちら



充実した機能

オンライン決済 / 領収書データ発行 (インボイス制度対応)
QRコードチェックイン / 来場者・視聴者トラッキング
ビジネスマッチング / タイムテーブル / 抽選 (事前審査)
プロモーションコード / 来場通知メール and more…



BtoB イベント実績多数

ビジネスカンファレンス / セミナー・ウェビナー / 展示会
プライベートショー / 自治体主催イベント
ユーザーコミュニティ / マーケティングイベント / ミートアップ
リアル・オンライン・ハイブリッドイベント



イベントレジスト株式会社
<https://eventregist.com>



イベントに行きたくなる「映像の使い方」

イマーシブ、インタラクティブ、透過型LED、期待感を生むティザー、物語で伝える価値、大規模LEDビジョンなど、イベント体験を強化する映像演出手法や機材、事例について、イベント映像のプロにうかがい、効果を拡大するアイデアを紹介する。

インタラクティブ

ただ見るだけじゃない、触れて動かす コアな参加者がイベントをつくる

【シミュネティグループ】

「絶対に行きたい」というイベントには、ただ情報収集するだけでなく、出展物に触って、体感し、操作し、その楽しさを他の人と共

有する積極的な参加者が多い。そんなリッチな体験を提供するために、インタラクティブなコンテンツが欠かせない。



コンテンツのインタラクティブ性を高める直感的な操作のため、色調や動き、デザインなどさまざまな視覚的な工夫が施されている。

イベントの映像演出や映像空間の設計を手がけるシミュネティグループには以下のソリューションがある。「Video Wall Touch Display」は、最大100ポイントのタッチを認識し、高速レスポンスとタッチ可能でスリムなベゼルにより、複数人が同時に操作可能。精細な映像と迅速なタッチ認識が特徴で、多くの来場者がゲームや展示内容に参加できる。「Ugokuto」は床や壁に設置できるインタラクティブソリューションだ。

心地よさがカギとなる 細かな工夫と調整

コンテンツのインタラクティブ性を高めるためには、直感的に操作できることが重要であり、そのために色調やデザインなどさまざまな視覚的な工夫が施されている。

例えば動く葉に赤みを加えていたり、ピンクの桜の花びらの背景を水色の池にしたりすることで、視認性を高め、「動かせる」と認識しやすくしている。

オブジェクトの動きも、自然に感じられる動きを再現するため、葉が揺れる様子や花びらの舞い散り方にこだわり、何度もシミュレ



Video Wall Touch Display は精細な映像と迅速なタッチ認識が特徴

ションが行われる。

「映像の高精細さとスムーズな動きは、ともに映像処理の負荷が高いため、バランスをとるのが課題です」と舂井さんは語る

また、タッチディスプレイにはベゼル（枠）



シミュネティグループ
株式会社シムディレクト

舂井 奈緒さん



私たちが目指すもの

SHOEI

昭栄美術は循環型ディスプレイで展示・イベント業界の
持続可能性に取り組んでいます。

大型3D
プリンター活用

マテリアルリサイクル
廃棄物を資源として再利用

FSC認証
木材取扱

スチューワードシップ
環境に配慮した素材の管理及び使用

ユニプラン

リユースシステム
当社独自の木工装飾・什器



業界に先駆けてISO20121の認証を取得し、
環境や社会の持続可能性に配慮した展示会・イベントを実現する
総合ディスプレイ企業です。

株式会社 昭栄美術

東京本社

東京都中央区明石町8-1
聖路加タワー25F
TEL: 03-5148-6651

大阪オフィス

大阪府大阪市住之江区
南港中1-3-92
TEL: 06-6613-6622

上海オフィス

昭栄(上海)展覧服務有限公司
上海市浦东新区東方路971号
錢江大廈3楼310B号室

北京オフィス

昭栄(上海)展覧服務有限公司
北京分公司
北京市朝阳区十里堡甲3号
万科時代中心 4F-B-06



JSS は
施設警備
航空保安警備
イベント警備
身辺警備
交通誘導
保安警備の
プロフェッショナルです。

そこには笑顔がある

株式会社 JSS
TEL 0120-277-179

03-5806-4071

東京 神奈川 千葉 大阪 宮城

info@j-ss.jp

があり映像が途切れてしまうが、それをデザインに取り込み、違和感なく入りこめる。

演出でなくストーリーも重視 他の人にも見せよう

BtoB イベントでは、インタラクティブが目的ではなく、メッセージを伝えることが重要。製品やサービスを象徴するオブジェにBluetooth タグを付けて操作することで、直感的な操作だけでなく、重さや質感をともなつてより深い体験提供とブランド認知につながり、製品やサービスに対して深い関心を持つきっかけとなる。「インタラクティブの提案は演出技法である以上に具体的なビジネス課題の解決のツール」と舛井さんは話す。

また、インタラクティブ演出を集客ツールにするため、体験する様子を通行人にも見せることも重要。人数を集めるためだけでなく、体験内容を通じて企業メッセージも発信できる。

注意が必要なのは1人あたりの体験時間。ゲーム形式なら1〜2分で完結もの、情報閲覧型であれば、時間を限定しないため、複数の人が同時に使えるよう設計するなど、コンテンツに合わせた設計で、来場者の流れをスムーズに保ちながら、効率的に興味を引きつけることが可能だ。もちろん、来場者の興味分野に応じてコンテンツの出し分けもできる。

シンコミュニティグループのインタラクティブ技術は、リアルとデジタルを融合するツールとして、今後もクライアントのビジネス目標を達成する有力なツールとなりそうだ。

透過型

背景を透かすと未来が見える シースルー LED の演出表現と利便性

【レイ テクニカルショーユニット】

イベントの映像演出と放送や動画配信などの映像の違いは、四角い画面から解放された点にある。あらゆる場所や方向に設置できるようになり、自由度が増した映像演出は、舞台や展示空間の一部として空間をデザインする要素へと進化した。“見る”ものから“体験”するものへと変化したのだ。

透過型（シースルー）LED システムは、背景を透かして映像を表示し、奥行きのある空間を創り出し、見る人に没入感を与える。

アニメやゲーム関連の展示会では、前面のキャラクター映像と背後のエリアを同時に見せる演出が好評だ。商業施設のウィンドウディスプレイや店舗装飾では、靴やカバンなどの商品を映像によって高級感や存在感のある演出を行い、商品のストーリーを視覚的に伝える効果も高い。

コンサートでは、舞台装飾を浮かび上げらせ、奥行きのある空間をつくる。照明やスモーク、暗闇を活かした演出により、場面ごとにメリハリをつけることが可能であり、観客を引き込む幻想的な演出が実現できる。

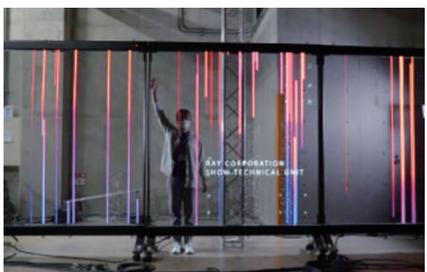
レイでは、1m × 1m のパネルで最大15mの高さまで組み上げられるV8 Sタイプや、3.9mm

ピッチの高精細モデルなど、多彩なシースルーLED 製品をラインナップ。大規模なステージでもインパクトのある映像演出を提供する。

外にもメリット多く 活躍の場が広がる

シースルー LED は、通常のLED と比べて風抜けが良く軽量なため、屋外では強風に備えた設置が必要だが、固定するためのトラスや補強部材が軽減できるなど、施工上のメリットも多い。屋内では照明器具と同様に天井バトンから吊り下げが可能で、大規模な施工も短時間で容易に行えることが大きなポイントだ。

舞台の演出では、その軽さを活かして移動が可能であり、美術セットとしての利用も増えている。景色や装飾を瞬時に切り替えることで、場面転換がスムーズになり、壁面全体を映像で覆うことで、映像が創り出す空間の中にあるようなリッチな視聴体験を提供できる。さらに、窓としてLED パネルを使用することで、窓からの風景を変化させたり、窓枠の影や反射光を映し出したりすることで、よりリアルな表現が可能になる。



奥行きを出すだけでなく
軽量なことも演出の幅を広げる

今後もシースルー LED は軽量化、高解像度化、耐久性の向上などの技術革新が見込まれる。それにより、イベントだけでなく、都市景観や商業施設、公共空間など、さまざまなシーンでの活用が広がっていくだろう。舛井さんは、「シースルー LED はこれからの空間演出を担う中心的な存在として、その重要性は増していく」と話す。

株式会社レイ
ショーテクニカルユニット
執行役員



舛井 隆宏 さん

イベント業界 合同会社説明会

12月中旬 開催

イベントを仕事にする イベントホールやカンファレンス施設、ホテル宴会場、配信スタジオなどのイベントスペースの運営（技術・施工）をする企業に特化した合同説明会です。対面式でのコミュニケーション機会を提供。一度に複数の会社の現場担当者・人事担当者と直接会うことで、各社・各会場の特性を知り、具体的な業務内容や求めるスキル・人材を理解して、就職活動のマッチング・業界動向の把握を促進します。業界・職種未経験者も歓迎です。

参加費：無料（事前申込制）

参加対象：転職検討者、[大学・専門学校] 2025年新卒対象者・インターン希望者、業界研究・交流希望者



Deeply Immersive Experience

最近、よく耳にするようになった「イマーシブ空間」は、イベントやエンターテインメント空間はもちろん、店舗やオフィス、教室など、多くのシーンで、高い体験価値を提供することができます。私たちはそのイマーシブ空間を様々な課題解決に活用できると考え、イマーシブ空間の創造をゴールとするのではなく、お客様のゴールを達成するためのツールのひとつとしてご提案いたします。



SYMUNITY GROUP

SYMDIRECT TEP S TRAVENKA ARK VENTURES SymX Inc. PRESSTONE SWAG Tasc Service

イマーシブ 没入感と共感を両立させる 3D 映像演出 【ヒビノ】

サブスク音楽配信が普及し、楽曲音源やミュージックビデオを気軽に楽しめるようになった一方、コンサートやフェスの市場規模は拡大している。

ファンが会場に足を運ぶ理由は、観客同士で体験を共有し、アーティストの世界観に入り込むこと。その2点を同時に満たすのが、ヒビノが提供するパッシブ三次元LED技術「Immersive LED System」だ。リアルとバーチャルが交錯する演出で、ライブ会場や展示会における新たな体験を実現している。

LEDの採用により、プロジェクターに比べて高輝度で鮮明な表現が可能で、演者やセットと映像が重なっても影がでず、よりリアルな演出が実現する。「Immersive LED System」はLEDパネルと3Dグラスに偏光フィルターを実装し、LED素子に右目用と左目用の映像を同時に投影することで、パッシブ方式3D表現を実現。映像とリアルの演出に加えて、照明やレーザーなどの効果も同時に楽しむことができる。錯視を用いた街頭ビジョンとは異なり、ビューポイントが広く、数千人規模で同時に没入感を味わえる点が特徴だ。

また、独自の光学技術とコンテンツ制作技術により、3D酔いの原因となるチラつきや残像感が解消され、奥行き感を表すステレオ・コントラスト比も向上している。

エンタメだけでなく BtoBでも立体表現を

今年3月から12公演を実施したYOASOBIのコンサートツアー「ZEPPTOUR 2024」では、幅14.4m、高さ4.8mのLEDをステージ全面に設置し、セットリストの中盤で5曲ほど3D映像を用いた演出を行った。コンサートのコンセプト“POP OUT”(“飛び出す”の意)に合わせ、ファンタジーな世界観やゲームをイメージしたボクセルアートなど、YOASOBIのメンバーと3D映像が共演するバーチャルステージを展開。SNS上で「想像以上に飛び出してきた」、など3D演出への感想が多数書き込まれた。

「Immersive LED System」は、エンターテインメント分野だけでなく、BtoBの展示会でも採用が進んでいる。「国際物流総合展 2024」では、世界的な物流システムメーカーであるダ



Hibino Immersive Entertainment Lab
で没入感ある映像が体感できる

イフクのブースに大きなLEDパネルを設置し、“完全無人化の物流ソリューション”を奥行きある映像で表現。商品の入荷から出荷までの全工程や最先端の搬送システムなど、臨場感ある映像演出が業界関係者の注目を集めた。

「Immersive LED System」の演出はフル3DCGで制作された“完パケ”の立体映像に合わせて、MCやアーティストが演技を行う。「YOASOBIのステージでは、楽曲の世界観をより立体的に表現するため、3D映像と演者の動きを精密にシンクロさせました。今後、3D映像生成技術の向上により、スムーズなインタラクティブコンテンツが実現すれば、さらに新たな体験提供が可能になるでしょう。」(東田さん)

多くの人が世界観を共有できる「Immersive



物流ソリューションを3D映像で表現

LED System」は、さらなる進化と共に、テーマパークや常設施設など多様なシーンでの導入が期待されている。

ヒビノ株式会社
ヒビノビジュアル Div.
事業戦略担当 部長
Hibino VFX Studio
プロデューサー



東田 高典 さん

EVENT lab

Expo&Convention Organizer System

ECOS
イベント管理システム

出展者との書類のやり取りが大変？

ECOSで簡単に解決！
イーコス

来場者・出展者・セミナーをシステムでまとめて管理！
「展示会」「就職セミナー」「お祭り」など
多数イベントにご導入いただいております。

公式サイトをチェック



株式会社イベントラボ 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル15F 045-263-9177

まじめに、まっすぐに。
Ray

株式会社レイ ショーテクニカルユニット

東京事業所	〒143-0006 東京都大田区平和島3-6-1 東京団地倉庫A-2棟 2F TEL:03-5767-5910
関西事業所	〒537-0002 大阪府大阪市東成区深江南3-1-3 TEL:06-6972-3066

詳しくはWebをご覧ください
http://ev.ray.co.jp/

展示会 開催宣言！

Inter BEE 2024

60回開催は 新たな10年へのチャレンジ年



一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会
Inter BEE ディレクター

小田 佳代子 さん

音と映像と通信のプロフェッショナル展示会「Inter BEE」は、今年で60回開催を迎える。“新たな10年に向けてのチャレンジを示す年”として新企画も用意されている「Inter BEE 2024」について、Inter BEE ディレクターの小田佳代子さんに今回の見所について聞いた。

今年で60回目の開催となる「Inter BEE 2024」。Inter BEE ディレクターの小田佳代子さんは、「過去を振り返るよりも新たな10年に向けてチャレンジする年」として記念となる60回開催を未来志向で位置付けていると話す。「Inter BEE」といえば、テレビの進化とともに歩んできた歴史があり、50回開催の頃までは放送局などを対象に、高品質・高価格帯のプロ仕様の機材・技術が並ぶ専門展示会というイメージが大きかった。一方で、50回開催からこの10年間の変化に目を向けると、コロナ禍にはとりわけ、企業が動画チャンネルを開設し、スタジオをもって、動画制作するなど、ユーザーの幅の広がりが顕著となった。

「展示される出展物の種類は機材からサービス・ソリューションまで、またラインナップは高価格帯からローコストのものまで細分化しており、映像制作や配信はより身近な存在と

なっています」(小田さん)

こうした潮流を背景に、「Inter BEE 2024」は昨年の1005社を上回る出展社が参加する見込みで、会場規模は幕張メッセの展示ホール7ホール分に拡大して開催される。

「INTER BEE AWARD」を創設

60回開催を契機として新たに創設されたのが「INTER BEE AWARD」だ。今後、継続して毎年行われ、「技術革新のモチベーションになれば」という想いで創設されたもの。世界的にメディア & エンターテインメント産業界が大きな転換期からの成長・拡大の道を歩むなか、コンテンツづくりや、受け取り方、体験テクノロジーもAI活用など加速度的に進化している。「INTER BEE AWARD」は会場に展示される製品・サービス等を対象として応募を受け付け、選考、表彰する。

前回の「Inter BEE 2023」の全景。今回は60回目の節目で会場拡大して開催。ARスタンプラリーの企画も用意されている



最終審査は初日の11月13日に展示会場で行われ、同日夕に発表・表彰が行われる。

「INTER BEE CINEMA」を新設

また、特別企画として、映画制作技術をテーマとした「INTER BEE CINEMA」を新設。“体験型シネマコミュニティ”として展開され、日本の映画制作の最前線を担う技術とプロフェッショナルが集合し、そのテクニックと感性や創造性を発信する場となる。

特に、映画制作現場をリアルに再現しライブデモとして実施する「スタジオセットエリア」は、国内一流の撮影陣の参加により、広く映像制作に携わるプロのみならず次世代のコンテンツメーカーを触発する体験の場となりそう

だ。また、映画製作のテクニックや最新動向、働き方改革を発信するセッションもあるなど、新たなゾーンとして映画に特化したクリエイターが集まる。

60回という節目の年は拡大して展開、新設企画も実施され、より映像・動画のつくり手に寄り添った内容となるようだ。

「プロ向けの専門展示会で参加ハードルが高いと思われる方もいらっしゃると思いますが、つくり手の方のアプローチが変わっているなか、マーケットやライブエンタメ・イベントの関係者の皆さんにもメディアの未来やAI活用といった変化する映像のいまを体験いただける内容を用意しています。展示やセッションを通じた、新しい発見をしにいらしてください」(小田さん)



映像を創る、楽しむ、すべての人が、
主役になれる場所。是非ご来場ください！

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2024
11.13水▶15金 幕張メッセ



完全Web登録制：入場事前登録のうえご来場ください。
入場事前登録受付中!! **今すぐ登録!!**

最新の展示会情報はここから▶▶▶ www.inter-bee.com

お問い合わせ：一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会 (JESA) E-mail: contact2024@inter-bee.com

電力

処理能力 需要

100%

Inter BEE 盛り上がりそうだね。

“お陰様で71周年”

電気工事だけでなく、
色々な企画で
サポートします。

株式会社 鈴木電機
〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-12-5
TEL 03(3842)8201 (代) FAX03(3845)3040
URL: <http://www.suzukidenki.co.jp>

展示会 イベント スケジュールは **Web** で **無料** の

イベントマーケティングウェブサイトへ
<https://www.event-marketing.co.jp>

9月-12月の展示会 イベント スケジュール

東京・名古屋・大阪・神戸・京都版 **全国版**

2020年9月の展示会・イベント・国際会議 スケジュール (全国版)

① 無料、登録不要で、いつでもアクセスできる。
② 一覧表と詳細表示が切り替えできる
③ 月ごと、地域ごと、毎週のスケジュールが確認できる

④ 展示会以外のイベント情報も掲載
⑤ イベント情報の掲載も無料

運営会社：
株式会社 MICE 研究所

Mika + Rika

来年3月21日 JR大阪駅前にオープン

—コングレスクエア グラングリーン大阪

JR大阪駅前の開発事業「グラングリーン大阪」の南館が2025年3月21日に開業する。

4階には、190㎡から740㎡のホールや、35㎡から160㎡の会議室、充実した控室を備えるカンファレンス施設「コングレスクエア グラングリーン大阪」も設置される。

大きな窓から柔らかな自然光が入る広々としたホワイエ、天井高5mから7mの開放的な空間に木目のぬくもりを取り入れたホールなど、人



新施設も設置される「グラングリーン大阪」のイメージ図

モノ・コトの出会いと交流を促す施設として期待される。

予約は下記アドレスまで。
csg@osaka.congres-square.jp

来年7月「産業DX 総合展」初開催

—エバーリッジ

エバーリッジ株式会社が組織する産業DX 総合展実行委員会は、産業市場に特化した展示会「産業DX 総合展」を来年7月30日から8月1日の3日間、東京ビッグサイト東7・8ホールで初開催する。

同展は、製造業DX EXPO、小売・飲食店DX EXPO、建設・建築DX EXPO、不動産DX EXPO、物流DX EXPOで構成される。各産業分野で球速に進むDXの進



来年7月に初開催される「産業DX 総合展」

展とそれにとまなう法改正や働き方改革、経営方針の変革に応える、最新のソリューションを集めて実施される。

イベント安全対策シンポジウム実施

—ポートメッセなごや

ポートメッセなごやMICEコンソーシアムは、展示会やイベントの安全対策や災害対策、環境に配慮した取り組みや課題解決のために「イベント安全対策シンポジウム」を2025年2月18日ポートメッセなごや コンベンションホールAで開催する。

第1部はイベントの安全と防災対策で、メッセフランクフルトジャパンの梶原靖志氏、気象庁の仲岡茂氏、日経イベント・プロの安藤英賢氏が登壇。第2部は、博展の白川陽一氏とセレスポの越川延命氏がサステナ



シンポジウム詳細はQRへ

ブルなイベント開催について語る。詳細は公式サイトへ。

2展を統合し TTS として新生

— 日本ファッション・ウィーク推進機構

日本ファッション・ウィーク推進機構は、2つの素材展示会「JFW ジャパン・クリエイション」と「プレミアム・テキスタイル・ジャパン (PTJ)」を統合し、新たに「TOKYO TEXTILE SCOPE (TTS)」として統合開催する。

2011年からPTJを商談重視にするため分離していたが、近年区分が曖昧になっていた。統合を機に場所と開催期間も変更する。来年5月の



統合開催されるTTSのロゴ

「TTS」は東京都立産業貿易センター(浜松町)で、5月14から16日の3日間と会期を1日延ばして開催される。業種、世代、産地、あらゆる垣

根を超えた交流、情報交換の場として、また、「産産連携」、「産学連携」による新たなビジネスチャンスを出していく。

SAKURA INTERNATIONAL

LAS VEGAS OFFICE

アメリカ大陸 各都市の
イベント対応致します。

トロント
ボストン
ニューヨーク
ヒューストン
オースティン
サンフランシスコ
ロスアンゼルス
サンディエゴ
メキシコシティ
ボコダ
サンチャゴ
ETC

SAKURA International USA, Inc.

555 E.Pamalyln Ave. Suite B Las Vegas, NV 89119, USA
Tel:+1-702-816-2800 Fax:+1-702-816-2801
EN <https://ja.sakurain-lasvegas.com/>

サクラインターナショナル株式会社

東京本部 〒135-0042 東京都江東区木場 2-17-13 第二亀井ビル5F
大阪本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-3 ENDO堺筋ビル3F・4F
JP <https://www.sakurain.co.jp>

イベントの成果を 最大化する

イベント・アーカイブス

取材

記事作成

写真撮影

動画撮影

ニュース配信

イベント専門出版社の取材力と発信力、撮影・編集のプロフェッショナルとのネットワークを活かし、自社セミナー、新商品発表会、展示会出展などの、プロモーションの様子を再編集し、アーカイブ・編集することで、イベントの出展効果を最大化できます。

イベント・アーカイブスについてのお問合せは
株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル5F
TEL 03-6721-5303 / info@event-marketing.co.jp
<https://www.event-marketing.co.jp>

「JAPAN MOBILITY SHOW 2025」概要を発表

—日本自動車工業会

日本自動車工業会は「JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK 2024」(10月15日～18日、幕張メッセ)での「未来モビリティ会議」特別セッションで、「JAPAN MOBILITY SHOW 2025」の概要を発表。2025年10月30日から11月9日まで、東京ビッグサイトで開催する。ビジネス向けイベントとショーケースイベントと毎年交互に

2年のイベントを1パッケージとして開催、展開される。



モビリティショー委員長青山真二氏

熊本でスタートアップイベント

— Innovation Fes. Kumamoto

熊本県は2025年2月27日、熊本城ホールで、「Innovation Fes. Kumamoto」を開催する。熊本城ホールの2フロアを使用し、総勢50名以上のプレイヤーが関わるさまざまなコンテンツが、音楽フェスのように同時進行するイベント。

熊本県主催のUX Projectの成果報告会「UX Project DEMO DAY 2025」、熊本市主催のイノベーション創出ピッチイベント「Kumamoto City Pitch Special Edition 2025」、熊本の民間発ビジネスカンファレン

ス「FIVE RINGS」が同時に実施される。運営はIFK運営事務局(有限責任監査法人トーマツ、株式会社エルポーズ)。

ベンチャーやスタートアップ、地域企業によるショートプレゼン、ディスカッション、地域発プロジェクトを紹介するブース出展、夜は、同会場で数百名規模の大交流会も行われ、熊本発の新産業・イノベーションを加速させる。

熊本県が推進しているUXプロジェクトでは、「世界中の人々が、自分らしく最後まで「健康で」「楽しく」「美しく」いられる生活」を実現するための新たなビジネスを、熊本から生み出していくことを目指し、さまざまな事業に取り組んでいる。



立命館アジア太平洋大学と協定

— コンベンションリンケージ

立命館アジア太平洋大学と株式会社コンベンションリンケージが、未来のMICE産業を支える人材の育成を目指し、連携協定を締結した。

同大学は2023年4月にサステイナビリティ観光学部を開設し、持続可能な社会と観光に関する基礎的・専門的知識及び高い実務能力を有する人材育成に取り組んでいる。



連携協定を締結した立命館アジア太平洋大学と株式会社コンベンションリンケージ

イベントレポート 「Japan MICE EXPO2024」

8ブース・11社団体を訪問

学生向け展示会体感ツアーを実施



(写真左上) 日本コンベンション協会 (JCMA) ブースでは、副代表理事で (株) コングレ代表の武内紀子さんが PCO について、理事で (株) ホットスケープ代表の前野伸幸さんが企業イベントについて、それぞれの役割や魅力を解説し MICE の幅広さを伝えた (写真右上) インフォーマーマーケットジャパンブースでは、代表のクリストファー・イブさんが展示会主催ビジネスのメカニズム、「とてもポジティブなパワーを感じられる魅力的な仕事」と醍醐味を紹介 (右下) セミナーから学ぶとして「2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) について」の聴講も用意した



10月17日・18日の2日間、インテックス大阪で「Japan MICE EXPO 2024」が開催された。

2024年大阪・関西万博を契機に MICE の誘致が本格化、また 2030 年には世界最高水準の大阪 IR の開業も控えるなか、MICE 関係の企業・団体 128 社 133 小間が出展。日本の MICE ブランドを国内外に発信し、商談やセミナー、ピッチイベント等を通して、MICE 業界全体のネットワーク強化の推進を目的に初開催された。

海外バイヤーは、シンガポールやインド、中国、韓国、タイ、オーストラリアなどから 30 以上招聘。ピッチイベントではコンベンションビュー

ローを中心とした出展者が各ディスプレイネーションでチームを組みホステッドバイヤーにピッチ、フィードバックをもらう形で展開された。

学生向け体感ツアー

また、今回は主催の実行委員会メンバーでインテックス大阪の管理運営をする一般財団法人大阪国際経済振興センターと本紙月刊イベントマーケティングが協力し「学生向け展示会体感ツアー」を行った。

会場を巡回し、各企業の担当者と交流ができる機会を提供、MICE 業界のリアルを体感し興味や理解を深めるきっかけとして、次世代の人材育成を目的としたもの。

立命館大学 (経営管理研究科観光マネジメント専攻・修士1年生)、関西外国語大学 (英語国際学部英語国際学科4年生)、和歌山大学 (観光学部2年生) の3名が参加した。

ツアーでは、展示会主催者や企画・運営会社、照明音響映像の演出を担う企業、MICE 誘致団体など8ブース・11社団体協力のもと、キーパーソンらがビジネスモデルや仕事の魅力を解説、事例や展示実機などの紹

「Japan MICE EXPO 2024」概要

構成展示会:
Japan MICE デスティネーション EXPO / MICE 開催支援 EXPO
会期: 2024年10月17日 (木) 18日 (金)
10:00 ~ 17:30 (最終日は17:00まで)
会場: インテックス大阪
主催: Japan MICE EXPO 2024 実行委員会 (公益財団法人大阪観光局、株式会社大阪国際会議場、一般財団法人大阪国際経済振興センター)

介を交え役割について伝えた。

ツアー後、参加学生からは「業界のリアルな一面を体感できたことも大きな収穫。DMOとMICE業界でのキャリア形成に非常に役立つ内容だった」「MICEは大規模なビジネスイベントで堅い場所だというイメージがあった。(中略)最新の技術に触れられるワクワクする場所であり、たくさんの人とコネクションを持てる機会であると分かった。ツアーをきっかけに、MICEのイメージが変わった」などの感想が寄せられた。

- 訪問ブース:**
8ブース 11社団体
・インフォーマーマーケットジャパン
・テクニコ
・GLOBAL PRODUCE
・シーマ
・日本コンベンション協会 (JCMA) / ホットスケープ
・コングレ
・沖縄観光コンベンションビューロー / DMC 沖縄 / 沖縄コングレ
・トーガシ

EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

- 大手メーカー・メーカー**
▶年間イベント件数:約20件
デジタルマーケティングとオフラインを組み合わせて販促とファンづくりに
- 製薬会社
ミーティングプランナー**
▶年間イベント件数:100件超
業界のファーストムーバーとして異業種のトレンドを知り講演会に活かしたい
- IT企業向け
マーケティングサポーター**
▶年間イベント件数:約150件
イベントマーケティングに関わるテクノロジーやツールについて情報収集したい

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所: 株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp



未来のイベントを増やせ!

イベントオーガナイザー養成講座



写真左) 8月29日体験型マーケティングのカンファレンス「BACKSTAGE 2024」にて、講座のローンチ発表と制作の裏話を語った4名の講師。(左から)高嶋大介さん(株式会社INTO THE FABRIC 代表取締役、100人カイギ founder/見届け人)、前野伸幸さん(株式会社ホットスケア代表取締役)、日比谷尚武さん(合同会社kipples コネクタ)、宮川麻衣子さん(VISIONGRAPH Inc./未来予報株式会社代表取締役)(写真右上・右下)「未来のイベントを増やせ! イベントオーガナイザー養成講座を始める裏話」セッションの様子(「BACKSTAGE2024」8/29・虎ノ門ヒルズフォーラム)

8月29日、「イベントオーガナイザー養成講座」が開講した。イベントをはじめる人たちが楽しく、不安なく安心して運営するための基礎を学び、自信を持ってイベント開催ができるようになるためのeラーニング講座だ。

どのような内容で、なぜ開講したのだろうか。体験型マーケティングのカンファレンス「BACKSTAGE 2024」にて、講座のローンチ発表と制作の裏話を語ったセッション「未来のイベントを増やせ! イベントオーガナイザー養成講座を始める裏話」の内容と合わせ、講座の概要について紹介する。

イベントのはじめ方

「イベントを主催する人のうち、イベントについて学習してからはじめている人はどれくらい、いるのでしょうか?」「そもそも学習しなくても開催できるのでは?」

そんな疑問を呈し始まった「未来のイベントを増やせ! イベントオーガナイザー養成講座を始める裏話」のセッションには、講座のプログラムの講師を務めた4名が登壇した。

イベントの主催や仕事を意識した初体験について、講師の経験談を紐解いてみると、高校の学園祭の後夜祭や、海外イベントのプロモーション、コンサートの音響を希望していたが最初の仕事はつくば万博、と入り口はそれぞれ。

現在はいくつものイベントを開催したり、アドバイザーとして関わったり、プロとして年間数百件のイベントを企画・運営している講師陣にも、初めてのイベントがあり、実践し積み重ねてきたからこそそのノウハウや、経験からイ

ベント開催において押さえておくべきポイントがあることがわかる。

イベント開催の課題感とは

イベント開催におけるスキルには、さまざまあるが、共通しているのは「設計図」だ。

例えば、講座で「広報&発信」を担当した日比谷尚武さん(合同会社kipples コネクタ)は、広報関係者での勉強会ではメディアへのアプローチ法など共有できるテーマは数あるが、誰向けに、どんなメッセージを打ち出すべきかなど、基本の設計をしているかどうかが重要で、課題をもつケースは多いと指摘する。

また、「ゴール設定」担当の宮川麻衣子さん(VISIONGRAPH Inc./未来予報株式会社代表取締役)は、イベントを実施する上で自分自身でも失敗したと感ずるのはゴールイメージがないときと話す。「イベント運営」や、共有するチームとの意識合わせなどの「チームビルディング」にも影響する。

講座では、講師自身が経験と学びを共有し、初心者が学びやすい環境を提供、イベントの質を高める設計図と実践ノウハウを得ることができそうだ。



講座の特徴には、eラーニング講座にはめずらしく、講師・受講者の同志に会えるコミュニティの存在も。写真は月1定例の10月開催回

イベントオーガナイザー養成講座とは



カリキュラム	「ゴール設定」「イベント運営」「チームビルディング」「広報&発信」の4つのプログラムからなる講座を動画にて視聴学習。全てを視聴後、確認テストの受講資格を付与。確認テストを受験後、一定の正解率にてイベントオーガナイザー養成講座の修了証が発行される。	
プログラムの詳細	「ゴール設定」(約20分) ・INTRODUCTION:講義の目的と概要 ・ゴール設定の基本要素 - 自身の課題感・目的を明確化するには? - 対象者は誰か? - イベントの位置付けは何を持ち帰ってもらうか? <価値設定> ・イベントの成功の定義と評価 ・ケーススタディ <提供資料>「ゴール設定シート」	「イベント運営」(約20分) ・イベントの種類 ・レイアウトの種類(会議やセミナーなど) ・会場選びのポイント ・会場下見の際のチェックポイント ・運営マニュアル・実施概要を考える ・リスク管理や安全管理 <提供資料>「運営マニュアル・実施概要の事例」「会場見学時チェックシート」
	「チームビルディング」(約14分) ・なぜ、イベント運営にチームビルディングが必要なのか? ・ケーススタディ:イベントに関わる人数 - どのチームビルディングを行ったらいいの? - シートを使って、自分がどのように携わりたいかを整理 ・ケーススタディ:実際にあった、とあるチームの話 - うまく言っているとメンバーが感じるチームの因子 - 運営がうまくいく3つのタイプ ・最後に皆さんに <提供資料>「運営スタッフ参加シート」	「広報&発信」(約20分) ・基本的な考え方~コミュニケーション設計 - コミュニケーションとは - コミュニケーション設計において考える順番 - よくある悩み - コミュニケーション設計に困ったら ・イベントにおける広報 - そもそも考えること - イベント-広報戦略編- - 事前発信 / -当日対応 / -事後発信 - メディアスポンサー <提供資料>「コミュニケーション設計に困ったら」
受講料	15,000円+税 *2024年12月25日までの申込みに限り、10,000円+税*	

本質を学び、場をととのえる

イベントオーガナイザー

養成講座

<https://eventorganizer.jp/>

コンセプト設計のコンサルタント
宮川麻衣子さん

チームビルディングのプロ
高嶋大介さん

イベントの専門家
前野伸幸さん

広報・マーケティングの実践者
日比谷尚武さん